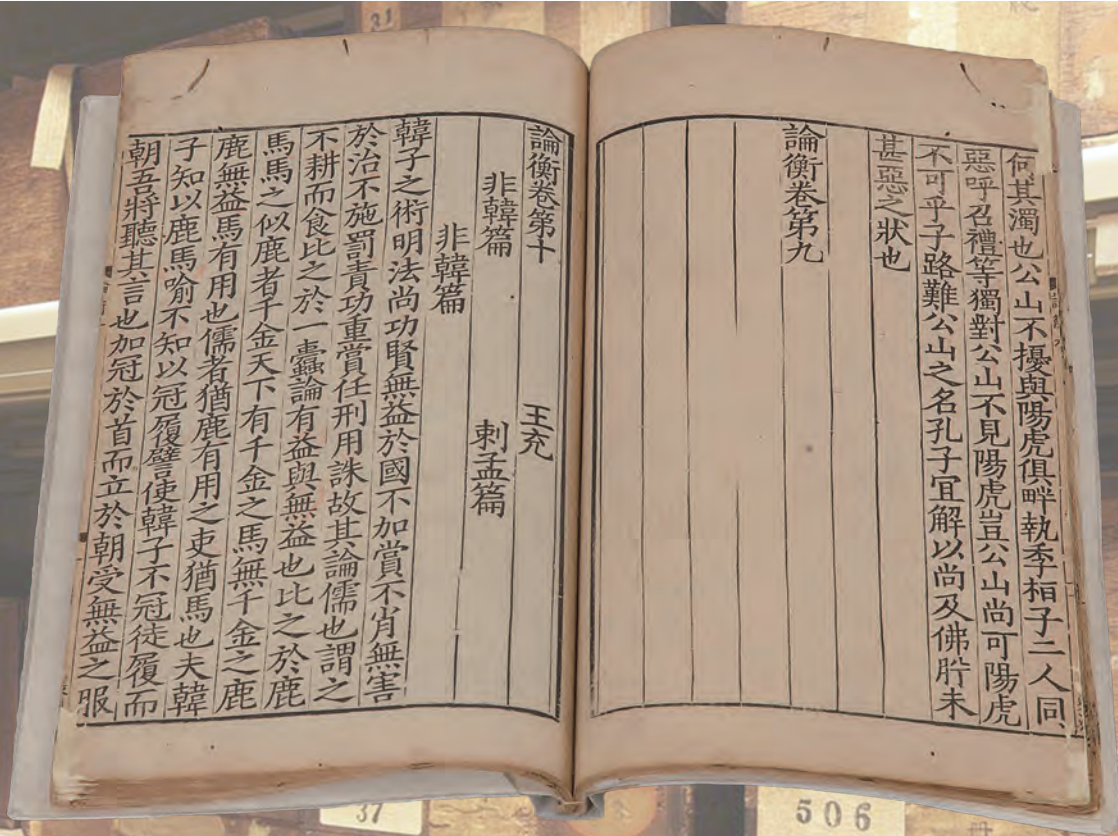


宮内庁書陵部収蔵漢籍画像公開記念国際研究集会

日本における漢籍の伝流

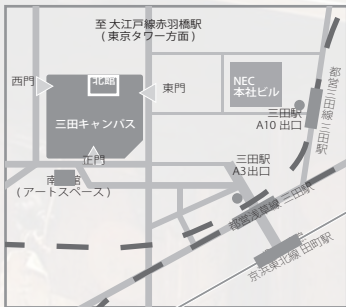
—デジタルアーカイブ「宮内庁書陵部収蔵漢籍集覧」の視角—



期日：平成28年6月4日(土)

会場：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

アクセス：



プログラム：

第I部：(10:00-11:50)

【デジタルアーカイブ「宮内庁書陵部収蔵漢籍集覧」の紹介】

【研究報告Ⅰ 仏典と漢籍旧鈔本】

「宮内庁書陵部所蔵の聖語蔵関係経巻について」

小倉 慈司 (国立歴史民俗博物館研究部准教授)

『古文孝経』永仁五年写本の問題点

佐藤 道生 (慶應義塾大学文学部教授)

第II部 (13:00-15:55)

【講演とシンポジウム 漢籍研究とデジタルアーカイブ】

「アメリカ合衆国における漢籍研究とデジタルアーカイブ」

マーティン ヘイドラ氏 (プリンストン大学東アジア図書館長)

「韓国伝来漢籍の研究とデジタルアーカイブ」

沈 慶昊氏 (高麗大学校漢文学科教授)

「日本漢籍の研究とデジタルアーカイブ」

陳 正宏氏 (復旦大学古籍整理研究所教授)

「蔵書概説データベースの効用」

高橋 智 (慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授)

司会：金 文京 (鶴見大学文学部教授・京都大学名誉教授)

第III部 (16:10-17:30)

【研究報告Ⅱ 宋元版と家別け文庫】

「書陵部本宋版論衡について」

矢島 明希子 (慶應義塾大学附属研究所斯道文庫研究嘱託)

「徳山毛利家旧蔵「伝奇四十種」所収『楊東来先生批評西遊記』の

書名改刻をめぐる一原題は『李卓吾先生批評西遊記』か?」

上原 究一 (山梨大学大学院総合研究部准教授)